

新型コロナウイルス感染症対策 予算総括表

○補正第 3 号

1, 169, 786 千円

<財源内訳> 国県支出金 219, 056 千円
 被災者生活再建支援基金繰入金 492, 000 千円
 その他 3, 300 千円
 一般財源（財政調整基金繰入金） 455, 430 千円

○既決予算

200, 000 千円

全額一般財源（財政調整基金繰入金）

（補正第 1、2 号）

補正第 3 号、既決予算合計

1, 369, 786 千円

（単位 千円）

項 目	既決予算額	補正第 3 号	合 計
1 感染症予防対策のための取組	—	13, 215	13, 215
2 暮らしを支えるための取組		29, 962	29, 962
3 雇用を維持するための取組	20, 000	362, 000	382, 000
4 企業の業績悪化対策等のための取組	40, 000	234, 861	274, 861
5 こども、学校のための取組		426, 254	426, 254
6 観光等反転攻勢のための取組	140, 000	103, 494	246, 494
合 計	200, 000	1, 169, 786	1, 369, 786

※今後、国会で補正予算が成立後、速やかに予算化するもの <専決予定>

○補正第 4 号

8, 225, 498 千円

<財源内訳> 国県支出金 8, 221, 928 千円
 一般財源（財政調整基金繰入金） 3, 570 千円

特別定額給付金の支給 他

令和2年度 一般会計補正予算（第3号）の概要

～新型コロナウイルス感染症に係る緊急対策～

1 感染症予防のための取組 13,215 千円

- (1) マスク、消毒液等購入、庁舎飛沫防止パネルの設置
- (2) WEB 会議用パソコン整備
- (3) 休日救急診療所換気扇、カウンターパネル設置（繰出金）

2 暮らしを支えるための取組 29,962 千円

資料No. 1

- (1) 児童扶養手当・就学援助費受給者支援給付 29,962 千円
→就業環境の変化による影響を受けやすいひとり親家庭及び就学援助家庭等に対し、1世帯当たり3万円の給付金を支給

3 雇用を維持するための取組 362,000 千円

- (1) 相談体制充実、申請事務手続きサポート 第2号補正実施済み
→国の雇用調整助成金（休業手当助成）の手続きサポート

資料No. 2

- (2) 緊急雇用維持事業 300,000 千円
(全額被災者生活再建支援基金)
→新型コロナウイルス感染の影響で、雇用調整助成金の申請を行った市内企業等に対し、助成率1/10に相当する額を上乗せ支給

資料No. 3

- (3) 指定管理者休業補償 62,000 千円
→施設を休館した指定管理者に対し、指定管理の継続のために必要な経費（人件費等）を補償

4 企業の業績悪化対策等のための取組 234,861 千円

- (1) 利子補給 第1号補正実施済み
ア 新型コロナウイルス対策融資及び利子補給
→市の制度融資に低利（年0.7%）の融資枠を新設し、その融資利用者に当初3年間利子補給を行う
→さまざまな融資の選択肢を提示

資料No. 4

イ 農業者、水産加工業者等に対する利子補給

861 千円

→経営維持安定に必要な資金を融通し支援を行うため、県及び市がそれぞれに利子補給を行う

※2021 年度～2027 年度債務負担行為

(2) ステップアップ支援補助金の予算枠と使途の拡充

第 1 号補正実施済み

→既存制度を活用することでスピーディーに支援

資料No. 5

(3) 創業初期の事業者支援

15,000 千円

(全額被災者生活再建支援基金)

→国の持続化給付金の対象とならない創業から 1 年以内の事業者へ定額 30 万円を支給

資料No. 6

(4) 雪不足、新型コロナウイルスの影響で苦しむ神鍋地域事業者への支援 30,000 千円

(全額被災者生活再建支援基金)

→国の持続化給付金の対象者で、神鍋エリア・スキー関連業で一定の減収が認められる事業者へ定額 30 万円を支給

資料No. 7

(5) 県内休業事業者への休業支援金支給（兵庫県へ委託）

135,000 千円

(全額被災者生活再建支援基金)

→県が行う休業要請事業者経営継続支援事業（休業支援金給付制度）の市負担分を委託。支給額は、中小法人 100 万円、個人事業主 50 万円。ただし飲食店・旅館・ホテルは中小法人 30 万円、個人事業主 15 万円。

資料No. 8

(6) 休業要請を受け休業する事業者への協力金支給

12,000 千円

(全額被災者生活再建支援基金)

→4 月～5 月の大型連休中等において、単独で多くの観光客をひきつける可能性がある施設に対し、豊岡市独自の休業要請を行い、要請に応じた事業者に対して、中小法人 30 万円、個人事業主 15 万円の協力金を支給

資料No. 9

(7) 商店街消費拡大支援

2,000 千円

(県費 1,333 千円)

→市内商店街が行うプレミアム付商品券事業への補助

資料No.10

(8) 商工業支援対策事業費

40,000 千円

→新型コロナウイルス感染症対策のため、既存技術を生かした新分野への進出、反転攻勢に向けた準備を行う者への支援

5 こども、学校のための取組

426, 254 千円

資料No.11

(1) 学習指導員の配置

416 千円

(全額県費)

→家庭学習に差が生じないよう学習指導員を配置

資料No.12

(2) 学校情報機器の整備

391, 520 千円

(国庫 190, 710 千円)

→小中学校における児童生徒 1 人 1 台端末・ソフトウェアの整備

資料No.13

(3) 学校給食調理業者の衛生管理改善

5, 000 千円

(その他 3, 300 千円)

→学校給食食材納入業者の給食再開に向けた研修・衛生設備更新・
消耗品購入補助

(4) 感染症予防

29, 318 千円

(国費 26, 597 千円)

→小中学校、保育所、認定こども園、幼稚園放課後児童クラブ、
子育てセンターのマスク、消毒液、空気清浄機等の購入

6 観光等反転攻勢のための取組

103, 494 千円

資料No.14

(1) 観光事業者等への緊急支援

38, 644 千円

ア 観光協会運営支援

(ア) 市内 6 観光協会の運営支援

→ 事業の中止による収入の減少を想定し、人件費等の運営費を補助

(イ) 自然学校の神鍋高原への受入支援

→ 市内小学校が春季に実施出来なくなった自然学校を神鍋高原で
実施するための宿泊費用等を補助

イ たんとうチューリップまつり実行委員会への支援

→ 2020 たんとうチューリップまつり中止に伴う収入減の補てんと
2021 年開催に要する経費の一部を補助

資料No.14

(2) 反転攻勢事業

64, 850 千円

国が実施する「G o T o キャンペーン事業 (仮称)」との連携

ア	アクティビティ・クーポンの提供 → 市内での体験メニュー等を満喫してもらうための応援 クーポンを提供	第2号補正実施済み
イ	質の高いアート体験の提供 → 子どもたちに様々なアートに触れる機会を無償で提供	第2号補正実施済み
ウ	誘客促進強化事業 → 広告戦略の策定と広告配信の強化	第2号補正実施済み 拡充：資料No.14
エ	市内周遊促進事業 → 市内の周遊を促進するための仕組みづくり	第2号補正実施済み
オ	観光地魅力強化事業 → 地域の魅力強化の取組みを支援 補助金額の上限額撤廃と予算額の拡充	第2号補正実施済み 拡充：資料No.14

7 補正額

補正第1号	40,000 千円	※2020年3月26日議決済み
補正第2号	160,000 千円	※2020年3月26日議決済み
補正第3号	1,169,786 千円	
(財源内訳)	国県支出金	219,056 千円
	被災者生活再建支援基金繰入金	492,000 千円
	その他	3,300 千円
	一般財源（財政調整基金繰入金）	455,430 千円

8 今後の事業見込み※専決予定

(1)	特別定額給付金の支給 →1人当たり10万円の給付金支給	8,099,043 千円
(2)	住居確保給付金の支給 →住居確保給付金の対象範囲を拡大し、住居を喪失した方又は住居を失うおそれが生じている方に対して給付金を支給	14,280 千円
(3)	子育て世帯への臨時特別給付金の支給 →子育て世帯の生活を支援するため児童手当受給者への1人当たり1万円の給付金を支給	109,387 千円
(4)	修学旅行の延期により発生する保護者負担増額分を支援	2,788 千円

(参考) 中小企業、個人事業主向け対策まとめ（現制度の整理を含む）

1 資金繰り

国県の対策	豊岡市の対策
資金繰り支援の拡充 県による制度融資を活用して、民間金融機関にも実質無利子・無担保・据置最大5年・保証料減免の融資を拡大するなど資金繰り支援を充実。 既往債務の実質無利子融資への借換えも。	「新型コロナウイルス対策融資」（第1号補正） 限度額 1企業2,000万円まで 利率 年0.7%（当初3年間実質無利子） 期間 1～10年（1年以内据置） 用途 運転資金・設備資金 保証 兵庫県信用保証協会の保証が必要

2 雇用維持

国県の対策	豊岡市の対策
「雇用調整助成金」の特例措置 従業員を一時的に休業させるなどして雇用維持を図った場合に、休業手当、賃金等の一部を助成。 助成日数 年間 100 日＋緊急対応期間 (2020. 4. 1～6. 30) 助成率 緊急期間は中小企業 4/5、大企業 2/3（解雇等を行わない場合は 中小企業 9/10 大企業 3/4）	「雇用調整助成金」の補強 ① 申請事務手続きサポート（第 2 号補正） 豊岡商工会議所、豊岡市商工会と連携し、社会保険労務士による無料相談の機会を創出。 ② 市独自の上乗せ給付（第 3 号補正） 助成金の申請を行った市内中小企業に対し、助成率 1/10 に相当する額を給付金として支給する。（上限 100 万円/1 社）
	予算額 300,000 千円

3 支援金

国県の対策	豊岡市の対策
「持続化給付金」の創設 事業の継続を支え、再起の糧とするため、事業全般に広く使える給付金を支給。 条件 売上が前年同月比 50%以上減少している方（業種を問わず） 金額 前年の総売上－前年同月比▲50%の月の売上×12 か月 法人 最大 200 万円 個人 最大 100 万円	「持続化給付金」の補強（第3号補正） ① 創業直後の事業者への支援 対象 創業から1年に満たない方 （「前年同月期の比較」ができない ことで対象外となってしまう方） 金額 定額 30 万円 予算額 15,000 千円 ② 市独自の上乗せ給付 2020 暖冬による雪不足の影響を受けた上に、さらに新型コロナの影響で苦しむ事業者への支援。 対象 持続化給付金の支給対象者で、かつ、 神鍋高原エリア・スキー関連業で一定 の減収が認められる方 金額 定額 30 万円 予算額 30,000 千円

「休業要請支援金」の創設（県・市町協調事業） 緊急事態宣言に伴い休業要請した業種を対象に、要請に応じた事業所に支援金を給付。 条件 4月の売上が前年同月比50%以上減少 金額 法人 定額100万円（※30万円） 個人 定額50万円（※15万円） ※は、営業時間短縮に応じた飲食店、旅館・ホテル	左記支援金への随伴負担（第3号補正） 市町の負担分を県が受け入れ、県分とあわせて交付。（事務費は全額県負担） 負担割合 県 2/3 市町 1/3 予算額 135,000 千円 （効果額 405,000 千円）
—	市独自の休業要請給付（第3号補正） 緊急事態宣言の休業要請に該当しないが、開店することで集団での誘客を促す飲食店に大型連休の休業を要請し、協力金を給付。 対象 出石皿そば協同組合加盟店等 金額 法人 定額30万円 個人 定額15万円 予算額 12,000 千円

4 事業改善

国県の対策	豊岡市の対策
「生産性革命推進事業」の拡充 新型コロナの影響を乗り越えるために前向きな投資を行う事業者を対象に、特別枠での優遇、申請条件緩和、遡及適用等を実施。 ① ものづくり補助金（補助率 1/2→2/3） ② 持続化補助金（補助上限 50 万円→100 万円） ③ IT 導入補助金（補助率 1/2→2/3）	「ステップアップ支援補助金」拡充（1号補正） 予算枠を拡大し、従来の“成長を目指す企業への支援”に加え、“新型コロナウイルス感染症による影響への対策”も対象に。 補助率 1/2 金額 上限 150 万円 受付 2020. 4. 中旬～5. 中旬
「テレワーク」導入支援の拡充 ① テレワークマネージャー派遣事業 ② テレワーク用通信機器の導入経費助成 ③ IT 導入補助金（再掲） 等	「商工業支援対策事業補助金」の創設（3号補正） 新型コロナ対策として、既存の技術を生かした新分野開拓等の動きを迅速に支援する。 補助率 2/3 金額 上限なし 予算額 40,000 千円

5 支払い猶予等

(1) 法定福利費

国県の対策	豊岡市の対策
厚生年金保険料等の納付猶予など	国民健康保険、後期高齢者医療制度及び介護保険の保険料（税）の徴収猶予等

(2) 返済金

国県の対策	豊岡市の対策
適時適切な貸出、返済猶予等の既往債務の条件変更、迅速かつ積極的な対応などを金融機関に要請	—

(3) 光熱水費

国県の対策	豊岡市の対策
電気・ガス料金の支払い猶予の要請	水道料金・下水道使用料の支払いが一時的に困難な方への相談

(4) 税金

国県の対策	豊岡市の対策
納税の猶予（すべての税） 2月以降、売上が前年同期比20%以上減少したすべての事業者について、無担保かつ延滞税なしで1年間納税を猶予。	—
固定資産税等の軽減（中小企業・小規模事業者） 設備や建物等の2021年度の固定資産税及び都市計画税を、収入の減少幅に応じて、ゼロまたは1/2とする。	—

6 その他（商店街振興）

国県の対策	豊岡市の対策
「商店街お買い物券・ポイントシール事業」の実施（県事業・市町随伴） 収束後における地域商業の活性化を図るため、商店街等の取組みを支援。 事業内容 プレミアム付商品券発行及びポイントシール事業 対象経費 商品券プレミアム分、イベント実施費、事務費等	左記事業への随伴負担（第3号補正） 県分とあわせて市が交付 負担割合 県 2/3 市町 1/3 予算額 2,000 千円

No. 1	事業名	児童扶養手当・就学援助費受給者 支援給付事業	補 正 予算額	29,962 千円
-------	-----	---------------------------	------------	-----------

1 事業目的、趣旨等

新型コロナウイルス感染症の発生による学校園の臨時休業、事業所等の休業等に伴い、特に就業環境の変化による影響を受けやすいひとり親家庭及び就学援助家庭に対する緊急的な支援として、児童扶養手当受給者及び就学援助費受給者に対して給付金を支給することで、生活の安定を図る。

2 事業概要

(1) 内 容

ひとり親家庭等及び就学援助家庭に対する緊急的な支援として給付金を支給する。

給付金の名称	児童扶養手当・就学援助費受給者に対する緊急支援給付金
対象者	次のア、イいずれかに該当する者（ただし、生活保護受給者を除く） ア ① 本年4月分の児童扶養手当受給者 ② 本年5月分の児童扶養手当受給者（①を除く。4月中の新規申請者及び転入者） イ 本年4月末日時点での就学援助費受給者（ただし、児童扶養手当受給者を除く）
給付額	1世帯につき30,000円を給付（1世帯1回限り）
支給件数（見込）	992世帯（ア 650世帯 イ 342世帯）
支給日	2020年5月15日（金） （認定が保留となっている者には、認定後、速やかに支給する。）

(2) 事業期間

2020年度（単年度）

(3) 事業主体

豊岡市

(4) 全体事業費

29,962千円（需用費8千円、役務費194千円、負担金、補助及び交付金29,760千円）

※市の単独事業

担当課名 【社会福祉課】（内線3001）
【こども教育課】（内線2721）

No. 2	事業名	緊急雇用維持事業（国雇用調整助成金の上乗せ給付）	補正 予算額	300,000 千円
-------	-----	--------------------------	-----------	------------

1 事業目的、趣旨等

新型コロナウイルス感染症の影響により、一時的に休業を余儀なくされる市内事業者が従業員に対して支払う休業手当の一部を助成することで事業主の負担軽減を図り、雇用維持・事業継続を支援する。

2 事業概要

(1) 内 容

雇用調整助成金の申請を行った市内企業等に対し、助成率1/10に相当する額を助成金として支給する（上限100万円/社）。

(2) 事業期間

2020年4月1日～6月30日（国の緊急対応期間）の間で実施される休業。

(3) 事業主体

豊岡市

(4) 今後のスケジュール

補正予算議決後、速やかに申請受付開始。

(5) 全体事業費（補助率・負担率等）

300,000千円

3 その他参考事項

(1) 対象企業数

市内企業5,130社の約30%に相当する約1,500社が一時的な休業を行うと想定。

上記のうち、市への給付申請見込件数は約830社。

※市内企業数は「2016経済センサス活動調査」の数値

(2) 支給時期

市内事業者が国への支給申請を行った後、同申請書類の写しを添えて市への申請を行う。市は、国の支給決定を待たずに、受付後速やかに支給を行う。

※国は支給決定までの審査に最短で1カ月程度要する見込み。

担当課名【環境経済課】（内線2301）

No. 3	事業名 指定管理者休業補償事業	補 正 予算額	62,000 千円
-------	-----------------	------------	-----------

1 事業目的、趣旨等

新型コロナウイルス感染症対策のため施設を休館した指定管理者に対し、指定管理の継続のために必要な経費（人件費等）を補償する。

2 事業概要

(1) 内 容

ア 対象施設

指定管理施設のうち、体育館、水泳場、キャンプ場、劇場等、スポーツクラブ等の運動施設、博物館、展示施設、健康福祉施設、道の駅、温泉施設等
（駐車場、特定の団体のみしか利用しない施設等については、原則対象としない）

イ 補償の考え方

- (ア) 国県等の支援制度（雇用調整助成金、休業要請事業者経営継続支援事業等）を活用してもらい、それでもなお不足が生じる場合に補償する。
- (イ) 指定管理の継続のため、必要な範囲内の経費（人件費、休業補償、施設の維持管理に係る固定経費等）を補償の対象とする。
- (ウ) 指定管理料の減額を行わず、指定管理の継続のため、必要な範囲内の経費に充てる。
- (エ) 資金繰り等で概算払いが必要であれば支払いを行う。

(2) 事業期間

2020年4月17日～5月31日（休業期間を45日と想定）

(3) 事業主体

豊岡市

(4) 全体事業費

62,000千円

担当課名【財政課】（内線2051）

No. 4	事業名	美しい村づくり資金、豊かな海づくり資金利子補給	補正 予算額	861 千円
-------	-----	-------------------------	-----------	--------

1 事業目的、趣旨等

新型コロナウイルス感染症の拡大により経営に影響を受けた農業者又は水産加工業者等に対し、経営維持安定に必要な資金を融通し支援を行うため、制度を拡充又は創設し、県及び市からそれぞれ利子補給する。

2 事業概要

(1) 内 容

ア 制度内容

資金名	美しい村づくり資金	豊かな海づくり資金
区分	特定（新型コロナウイルス感染症対策）	
貸付限度額	個人1,000万円、法人2,000万円	
融資率	100%	
償還期限	7年以内（うち据置2年以内）	
貸付利率	当初3年間無利子化	
	4年目以降0.2%	4年目以降0.02%
利子補給率	市0.46%（4年目以降0.4%）	市0.496%（4年目以降0.490%）
	県0.54%（4年目以降0.4%）	県0.504%（4年目以降0.490%）
受付期限	2020年度末	

イ 支援対象者等

区分	内容	
貸付対象者	新型コロナウイルス感染症の感染拡大により経営に影響を受けた農業者、水産加工業者等	
資金使途	経営の維持安定に必要な資金	
	従業員の雇用維持にかかる人件費、家賃・光熱水費等の基本料金、施設メンテの人員確保ができず施設が故障した場合の復旧費等	資材購入、加工原材料等購入にかかる経費等
担保・保証人	兵庫県農業信用基金協会又は全国漁業信用基金協会の債務保証を受けることで、原則として担保・第三者保証人は不要	

(2) 事業期間

2020年度～2027年度

(3) 事業主体

J A、なぎさ信用漁業協同組合連合会

(4) 全体事業費（補助率・負担率等）

4,438千円（財源：一般財源）

担当課名【農林水産課】（内線2361）

No. 5	事業名 創業初期事業者支援事業	補 正 予算額	15,000 千円
-------	-----------------	------------	-----------

1 事業目的、趣旨等

市内開業後1年以内の創業者を対象に、速やかに給付金を支給することにより、事業の継続及び新型コロナウイルス感染症終息後の事業展開を後押しする。

2 事業概要

(1) 内 容

「創業初期事業者支援給付金」

2019年5月から2020年4月までに開業届を提出した市内創業者のうち、100万円以上の初期投資等（注）を行っている者を対象に給付金を支給する。

（注）初期投資等

事業所開設に係る工事費、設備購入又はリース費、広告宣伝費及び事業所賃借料。
（但しリース費・賃借料は6カ月分を算入可）

(2) 事業期間

2020年度

(3) 事業主体

豊岡市

(4) 今後のスケジュール

補正予算議決後、速やかに申請受付開始。

(5) 全体事業費（補助率・負担率等）

15,000千円（申請者1者あたり定額300千円を給付）

3 その他参考事項

開業後1年未満の創業者を対象としている理由

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、売上が減少している事業者に対する国の支援策としての「持続化給付金」は、「2020年1月～12月のうち、いずれか1月において、前年同月比が50%以上減少した者」を対象にしており、開業間もない創業者は現状での前年同月比較ができないため。

No. 6 事業名 神鍋地域事業継続支援事業	補 正 予算額	30,000 千円
------------------------	------------	-----------

1 事業目的、趣旨等

雪不足によるスキー客の減少及び新型コロナウイルス感染症により、地域経済に深刻な影響を受けている神鍋地域の事業者、速やかに給付金を支給し資金調達を支援することにより、事業継続及び新型コロナウイルス感染症終息後の事業展開を後押しする。

2 事業概要

(1) 内 容

「神鍋地域事業継続支援給付金」

国の「持続化給付金」の対象要件を満たす神鍋地域の事業者のうち、雪不足によるスキー客の減少により、2019年12月～2020年3月のいずれか一月の売上が前年同月比30%以上減少した者を対象に給付金を支給する。

(2) 事業期間

2020年度

(3) 事業主体

豊岡市

(4) 今後のスケジュール

補正予算議決後、速やかに申請受付開始。

(5) 全体事業費（補助率・負担率等）

30,000千円（申請者1者あたり定額300千円を給付）

3 その他参考事項

「持続化給付金」の対象要件：2020年1～12月のいずれか一月の売上が、前年同月比50%以上減少していること（2020年4月20日時点）

No. 7	事業名	休業要請事業者経営継続支援事業	補正 予算額	135,000 千円
-------	-----	-----------------	-----------	------------

1 事業目的、趣旨等

兵庫県が行う「休業要請事業者経営継続支援事業」（県内休業事業者への休業支援金給付制度）に係る市負担分予算を協調し、新型コロナウイルス感染症拡大防止のために休業や営業時間の短縮等に取り組む市内事業者の経営継続を支援する。

2 事業概要

(1) 内 容

ア 給付対象者 次の条件のいずれにも当てはまる者

(ア) 次のいずれかの要請に応じ、休業等を行うこと

a 新型インフルエンザ等特別措置法に基づく休業要請

b 新型インフルエンザ等特別措置法に拠らない協力依頼
(床面積100㎡～1,000㎡の施設に対する営業自粛)

c 営業時間の短縮要請（飲食店等食事提供施設）

(イ) 2020年4月の売上が前年同月比50%以上減少していること

イ 支援金額

中小法人1,000千円、個人事業主500千円（いずれも1者あたり）

但し飲食店、旅館・ホテルは中小法人300千円、個人事業主150千円（注）

ウ 事業実施

支援金交付事務は兵庫県が実施する。（市は支援金の3分の1相当を負担）

（注）飲食店、旅館・ホテルは、「新型コロナウイルス感染拡大防止のための兵庫県における緊急事態措置」における「基本的に休業要請を行わない施設」に該当するが、営業時間を短縮する飲食店、会議室の貸与を停止する宿泊施設等は支援金交付対象になる。

(2) 事業期間

2020年度

(3) 事業主体

豊岡市

(4) 今後のスケジュール

補正予算の議決後速やかに予算の執行準備を進める。

(5) 全体事業費（補助率・負担率等）

135,000千円

3 その他参考事項

兵庫県による支援金申請受付期間は5月中旬～7月中旬頃を予定。

担当課名【環境経済課】（内線2301）

No. 8 事業名 休業要請協力金	補 正 予算額	12,000 千円
-------------------	------------	-----------

1 事業目的、趣旨等

豊岡市独自の休業要請を受け休業する市内事業者を対象に、当該休業に係る協力金を支給する。

2 事業概要

(1) 内 容

「休業要請協力金」

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、4月～5月の大型連休中等において、単独で多くの観光客をひきつける可能性がある施設（出石皿そば店舗等）に対し、豊岡市独自の休業要請を行い、要請に応じた事業者に対し協力金を支給する。

(2) 事業期間

2020年度

(3) 事業主体

豊岡市

(4) 今後のスケジュール

豊岡市独自の休業要請期間終了後速やかに申請受付開始。

(5) 全体事業費（補助率・負担率等）

12,000千円（申請者1者あたり300千円（中小企業等法人）又は150千円（個人事業主）を給付）

担当課名【環境経済課】（内線2301）

No. 9	事業名 商店街消費拡大支援事業	補 正 予算額	2,000 千円
-------	-----------------	------------	----------

1 事業目的、趣旨等

新型コロナウイルス感染症の収束後における地域経済の活性化を図る。

2 事業概要

(1) 内 容

新型コロナウイルス感染症の収束後に商店街が取り組むプレミアム付商品券事業の経費を補助する。

(2) 事業期間

2020年度 新型コロナウイルス感染症収束後に商品券販売予定

(3) 事業主体

市内商店街

(4) 今後のスケジュール

補正予算成立後、補助申請の受付を開始する。

(5) 全体事業費（補助率・負担率等）

2,000千円

ア 補助率 10／10 （市1／3、県2／3）

イ 対象経費 商品券に係るプレミアム相当額
事務費（商品券印刷費、ポスター印刷費等）

3 その他参考事項

兵庫県緊急経済対策事業随伴

担当課名【環境経済課】（内線2301）

No.10	事業名 商工業支援対策事業	補 正 予算額	40,000 千円
-------	---------------	------------	-----------

1 事業目的、趣旨等

新型コロナウイルス感染症対策に対応するため、既存技術を生かした新分野への進出や収束後の反転攻勢にむけた事業の準備を行う者を迅速に支援することにより、今後の地域経済活性化を図ることを目的とする。

2 事業概要

(1) 内 容

下記の取組みに対する経費の一部を支援する。

- ア 緊急に対応することで新型コロナ収束後の商工振興に寄与する取組み
- イ 既存技術を生かして新型コロナウイルス感染症対策に対応する緊急的な取組み
- ウ 新型コロナウイルス感染症の影響を受けている事業者支援に繋がる取組み など

(2) 今後のスケジュール

補正予算成立後、補助申請の受付を開始する。

(3) 全体事業費（補助率・負担率等）

40,000千円

補助率 2/3以内

担当課名【環境経済課】（内線2301）

No.11	事業名	学習指導員配置事業	補 正 予算額	416 千円
-------	-----	-----------	------------	--------

1 事業目的、趣旨等

新型コロナウイルス感染症対策に伴う臨時休業により、家庭学習に差が生じないよう学習指導員を配置し学力向上を図る。

2 事業概要

(1) 内 容

ア 10小学校に学習指導員を配置し放課後に算数の補習を実施（総時間数 208時間）

(2) 事業期間

2020年度

(3) 事業主体

豊岡市

(4) 今後のスケジュール

6～7月 学習指導員による補習等実施

(5) 全体事業費（補助率・負担率等）

416千円 （補助率 10/10）

担当課名【こども教育課】（内線 2721）

No.12	事業名	学校情報機器整備事業（児童生徒 1人1台端末整備）	補正 予算額	391,520 千円
-------	-----	------------------------------	-----------	------------

1 事業目的、趣旨等

授業において児童生徒が1人1台の端末を利用できる環境を整備し、ICTを活用した学びの深化、転換を図る。また、この度の新型コロナウイルスによる臨時休業のような緊急時における子どもたちの学びを保障する環境の整備を推進する。

2 事業概要

(1) 内 容

- ア 小中学校において、児童生徒が1人1台の端末を利用した授業ができる環境の整備
端末整備予定台数 4,238台
- イ 端末活用に資するコンテンツ（ソフトウェア）の整備
- ウ 学校での活用を支援するICT支援員の配置

(2) 事業期間

2020年度

(3) 事業主体

豊岡市

(4) 今後のスケジュール

2020年4月 国補助金交付決定（予定）
5～7月 県端末共同調達

(5) 全体事業費（補助率・負担率等）

391,520千円（補助率 国：端末1台当たり45千円を上限）

担当課名【教育総務課】（内線2701）

No.13	事業名	学校給食調理業者衛生管理改善 支援事業	補 正 予算額	5,000 千円
-------	-----	------------------------	------------	----------

1 事業目的、趣旨等

新型コロナウイルス感染症の感染防止に向け万全の衛生管理を確保するため、学校給食用食材等の調理・加工業者が、衛生管理の徹底・改善を図るために行う職員研修や設備等の更新に対する補助金を創設する。

2 事業概要

(1) 内 容

本市における新型コロナウイルス感染対策に伴う臨時休業により、影響を受けた市内の学校給食調理業者に対する補助

ア 職員研修に必要な経費

イ 衛生設備の更新、消耗品の購入に必要な経費

区分	補助対象経費	限度額
職員研修	研修参加料、テキスト代 (従業員3人以下の場合は、会場費、業務代替人件費なども対象)	5 千円 (従業員3人以下の場合22万円)
衛生設備の更新	自動手指消毒器などの衛生管理に必要な設備の更新	45万円
消耗品の購入	エプロン、帽子、手袋、マスク、長靴、アルコール溶液などの衛生関係消耗品の購入	30万円

(2) 事業期間

2020年度

(3) 事業主体

豊岡市

(4) 今後のスケジュール

5 月 該当事業者へ周知

6 月～ 補助申請受付

(5) 全体事業費（補助率・負担率等）

5,000千円（補助率 国2／3）

3 その他参考事項

国の補助事業を踏まえ、2020年3月20日以降に着手された上記費用を対象とする。

担当課名【教育総務課】（内線2701）

No.14	事業名 観光支援事業	補 正 予算額	103,494 千円
-------	------------	------------	------------

1 事業目的、趣旨等

新型コロナウイルス感染症拡大により、未曾有の大打撃を受けている観光事業者等への支援を行うとともに、感染症拡大が収束した後の反転攻勢により、大交流を実現する。

2 事業概要

(1) 内 容

- ア 豊岡市観光協会補助金 【35,374千円】
 - (ア) 運営費支援 32,470千円
観光協会が組織を維持していくために必要となる運営費を補助する。
 - (イ) 自然学校受入支援 2,904千円
市内小学校が春季に実施出来なくなった自然学校の一部日程を神鍋高原で受け入れるため、他地域で実施する場合に要する宿泊費用等相当額との差額を補助する。
- イ 観光地魅力強化事業 【30,000千円】
地域の特徴を活かしたコンテンツの組成・強化事業を民間の団体や企業等から公募、選定し必要な予算を補助する。
補助率：補助対象経費の3分の2以内、上限なし
※第2号補正10,000千円を加え、総額40,000千円の事業として実施
- ウ たんとうチューリップまつり開催事業補助金 【3,270千円】
2020たんとうチューリップまつり中止に伴う収入減と2021年開催に要する経費の一部を補助する。
- エ 誘客促進強化事業 【34,850千円】
国の「GoToキャンペーン事業」を見据えて、豊岡市を選んでもらうためにメディア戦略を策定するとともに、ターゲットが接触しやすいメディアを選定し、効果的な広告配信を行う。
(ア) 戦略設計費（コミュニケーションプランニング） 14,850千円
(イ) 広告費 20,000千円
※ 第2号補正9,740千円の事業周知広告費を加え、総額44,590千円の事業として実施

(2) 事業期間

2020年度

(3) 事業主体

豊岡市

(4) 今後のスケジュール

補助事業については、豊岡市補助金等交付要綱改正後、随時事業着手
委託事業については、補正予算議決後、早急に委託契約を締結し事業着手

(5) 全体事業費（補助率・負担率等）

103,494千円

担当課名【大交流課】（内線2321）